

平成24年3月29日

第44回 歴史・文化を訪ねる会 例会開催報告

“本佐倉城跡と城下町佐倉散策”

担当世話人 西部修三

やっと好天に恵まれた3月25日(日)、国指定史跡の本佐倉城跡散策と城下町佐倉を探訪した。当日の参加者は12名、週末悪天候続きで三度の順延が影響し当初22名の参加予定が激減した。午前10時京成大佐倉駅へ集合したが、我々以外誰も下車する人がいない、駅員一人の寂しい駅であった。

本佐倉城は中世戦国時代の城跡で「千葉城」が戦場となり、荒廃後「本佐倉城」を築き、豊臣秀吉により滅ぼされるまで、下総の首府として栄えました。内郭群、外郭群、城下町を含む総構えで構成され外郭群は土塁と空堀により区画され、城は印旛沼に接する標高36mの台地に築かれその範囲は東西約700m、南北800mに及んでいる。当日は1万人参加の佐倉健康マラソンが開催されており、台地から帯状に走るランナーを一望できました。二人一組で6名のボランティアの方々から説明を受けながら走り回るのでから贅沢でもあり、疲れしました。

昼食の後、県立佐倉高校交流施設に向かった。校内にあり藩校時代の多数の古書籍、佐倉藩主堀田家関連資料などが展示されている他、同校出身の長嶋茂雄のゆかりの資料もあり興味深く見入った。次に佐倉順天堂へ向かった。1858年創設の由緒ある記念館の中に入ると日本の西洋外科医学の古典となった「外科医法」や「顕微鏡」「手術道具」などが展示され、当時の診療知識、技術を知ることができた。サークル会員の質問も活発化し、皆さん本当に歴史好きで充実したサークル活動が行われていることを実感した。

最後に順天堂開設者、佐藤泰然の墓所である宗円寺、下総国佐倉藩主「堀田家」歴代の墓所のある甚大寺を廻り全行程を完歩した。全員ガツクリ疲れた様子であったが、日頃の運動不足を痛感。平均年齢71.7歳、door to doorで21000歩、15キロ(柏市在住の川股さん計測)の歴史探訪でした。

参加者： 岩田芳秀、宇田川修祐、小澤敏宣、川股賢三、住田勝治、 田代周、 西部修三、 野田佑、橋本裕一郎、平木行雄、藤井弘道、古屋榮三 (敬称略) 以上12名



< 国指定史跡“本佐倉城跡にて”－平成24年3月25日(日)－>

<第44回 歴史・文化を訪ねる会>例会 参考スナップ写真



佐倉順天堂記念館



佐倉高校記念館(明治建築校舎)



地益交流施設での佐倉の歴史勉強



旧 佐倉順天堂説明板